

### 平成31年度 薬局の連携体制整備のための検討モデル事業

長崎県薬剤師会 ICTを活用した多職種連携及び薬局機能の充実

おくすりネット(レセコンデータ集積)の構築・拡大

25

### 地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目的に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**。
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要。

地域包括ケアシステムの姿

26



27



## 講演 3

# 全国の薬局の情報共有に関する調査結果と 八尾地域での取組

小枝伸行（八尾市立病院事務局）



# 全国の薬局の情報共有に 関する調査結果と 八尾地域での取組

日時:令和2年2月11日(火・祝)13:00~16:45  
 場所:日本薬学会長井記念ホール

八尾市立病院 小枝伸行

1

## 調査目的

# 薬局の医療機関や地域の 多職種との情報共有の現状 を把握

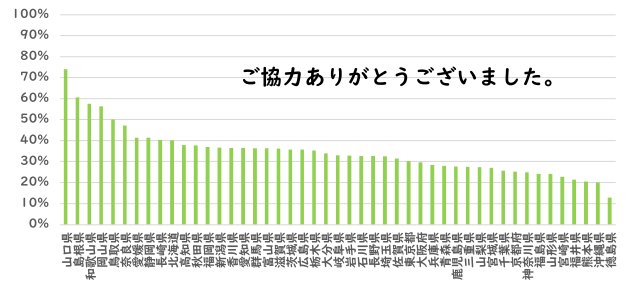
2

## 方法

- アンケートによる調査
- 都道府県別に人口比率より各地域の保険薬局数の1割に相当する数の薬局を無作為抽出し、合計5838の薬局に対し平成30年12月末に調査票を郵送した。
- 回答には、調査票の返送と専用のwebサイトにアクセスし直接入力する方式を併用し、回答期限は平成31年1月末とした。
- 全国の5838薬局に調査票を送付し、1927件の回答(回答率33.0%)を調査対象とした。

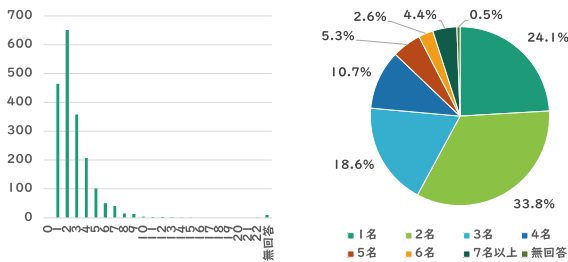
3

## 都道府県別回答率



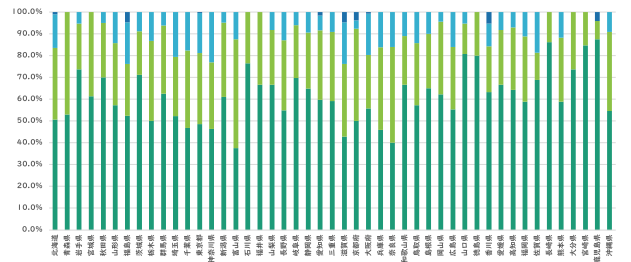
4

## 薬剤師数

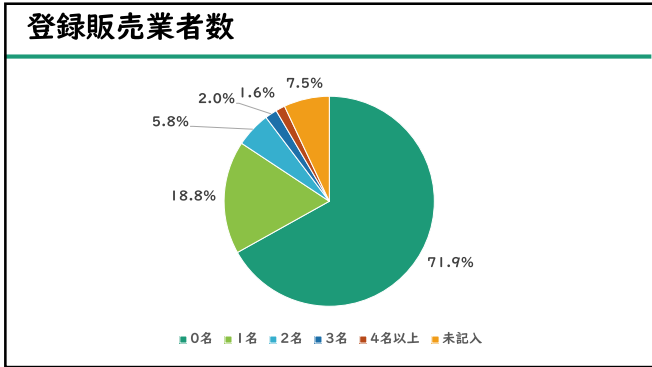


5

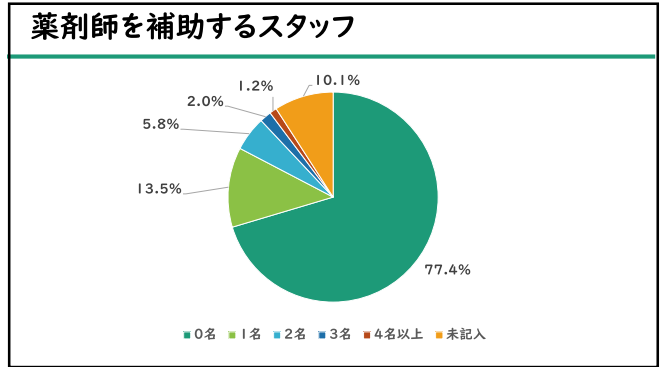
## 都道府県別 薬剤師数



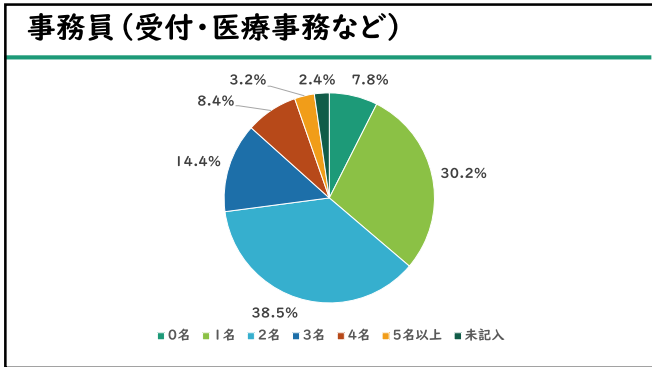
6



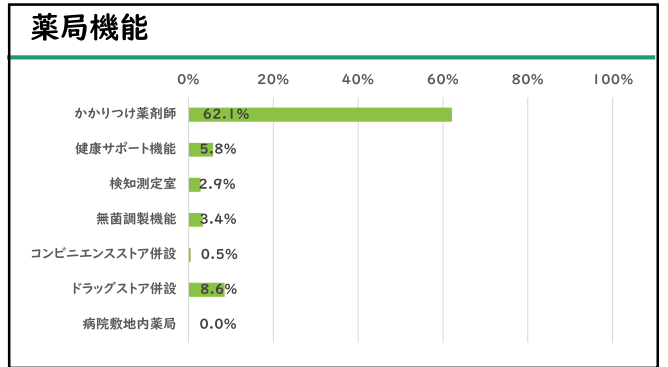
7



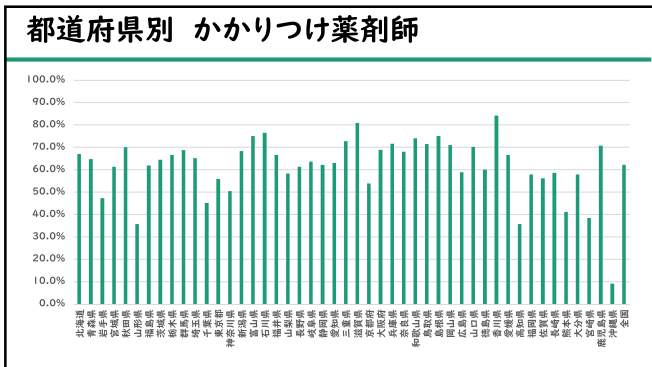
8



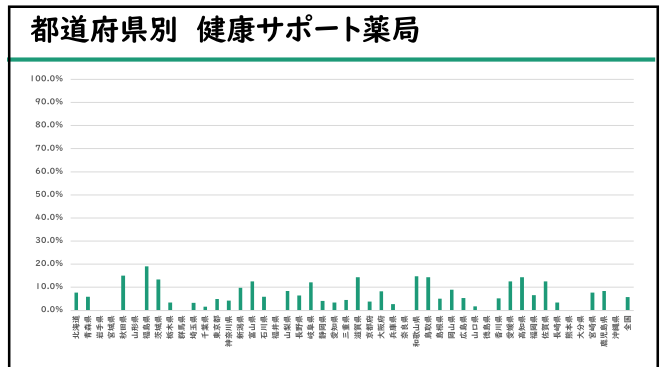
9



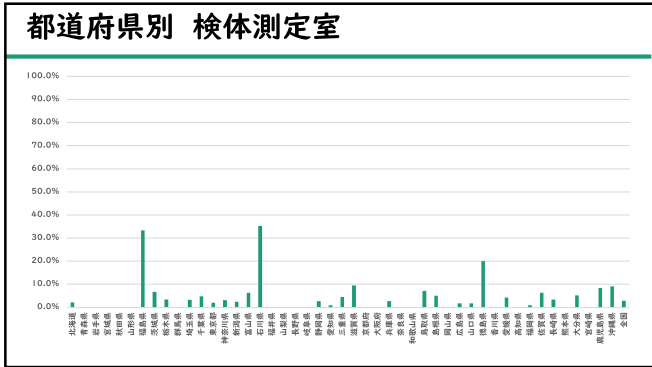
10



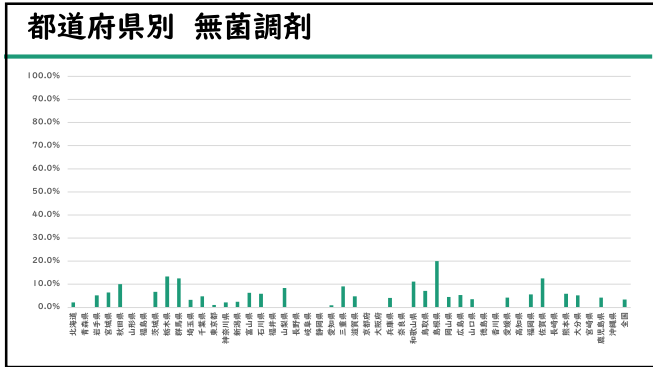
11



12



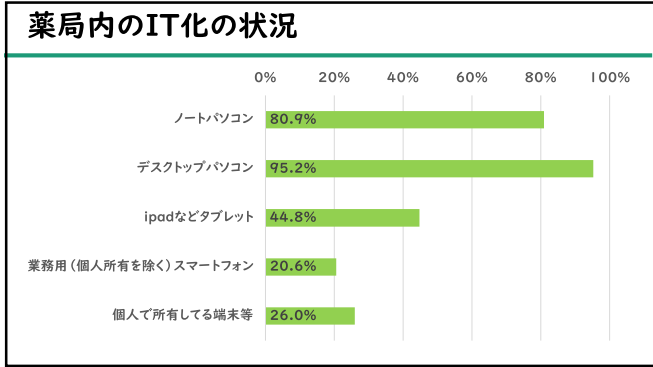
13



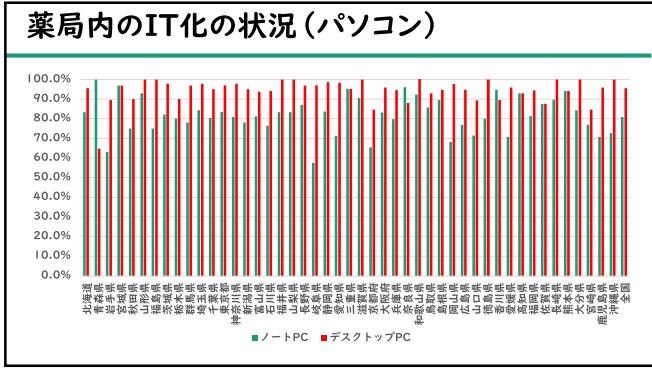
14

### IT化の状況

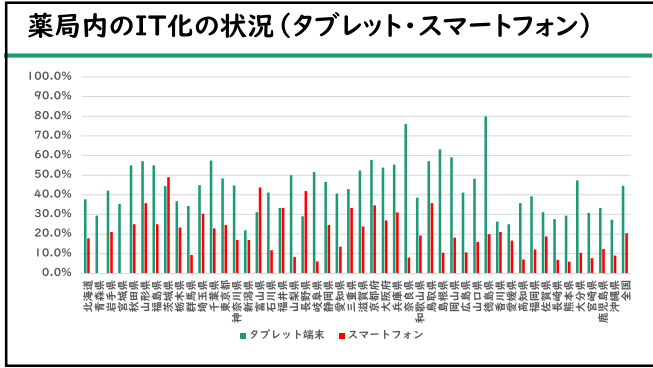
15



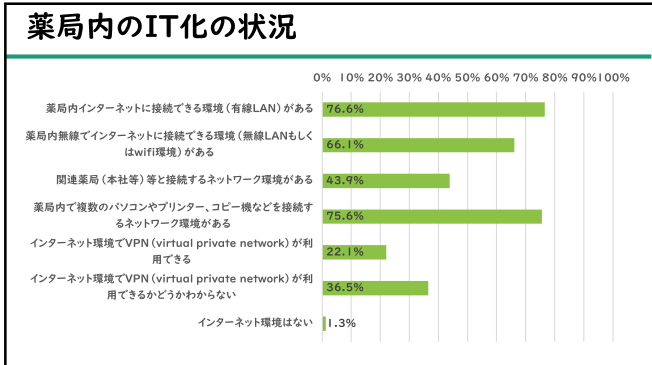
16



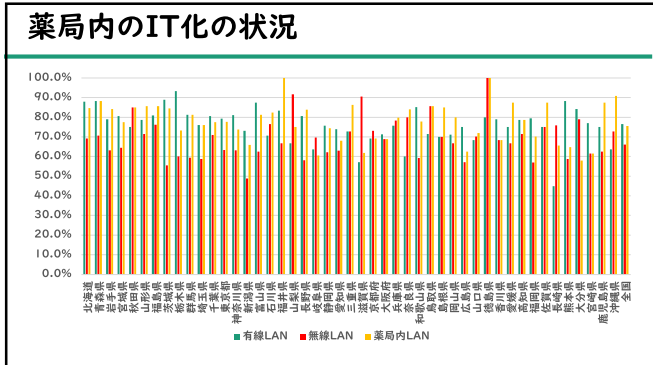
17



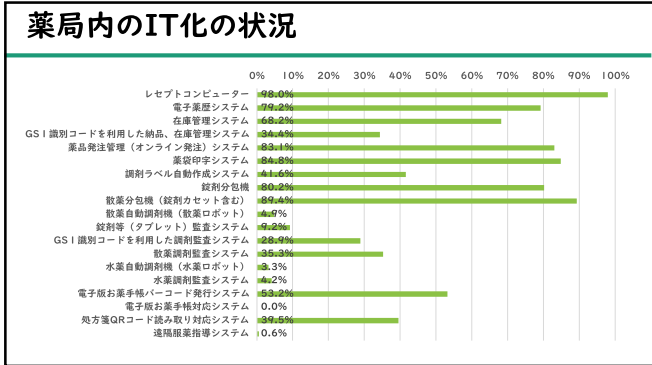
18



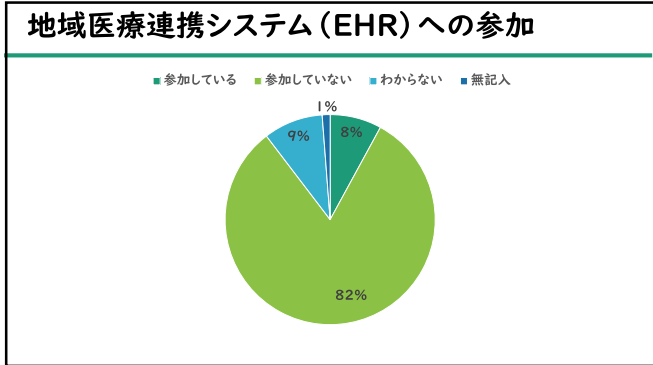
19



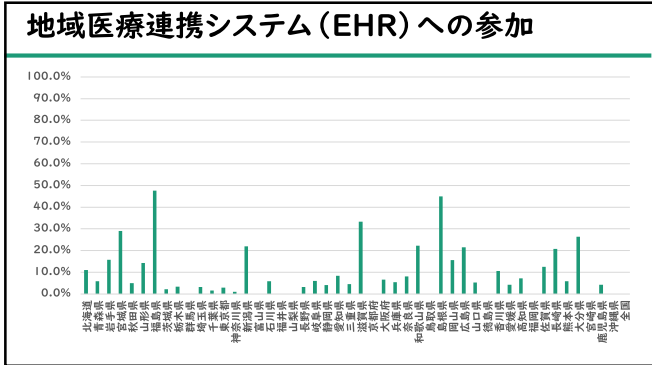
20



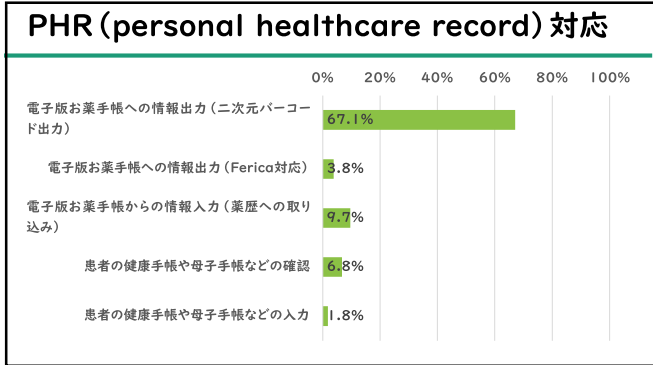
21



22

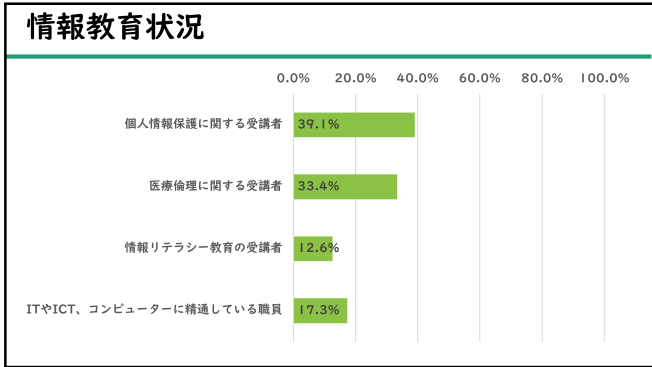


23

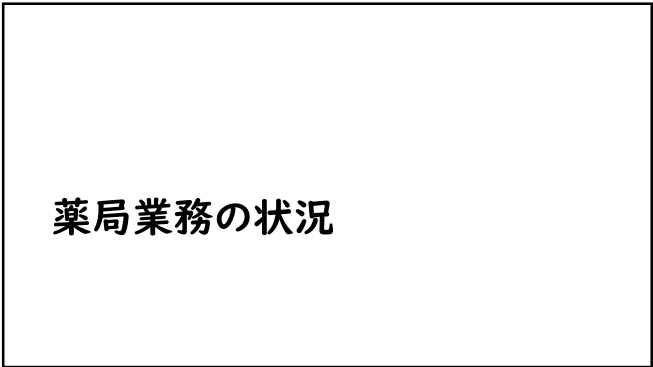


24

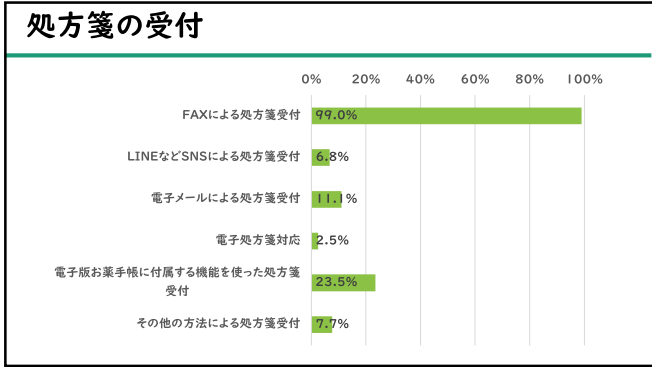




25



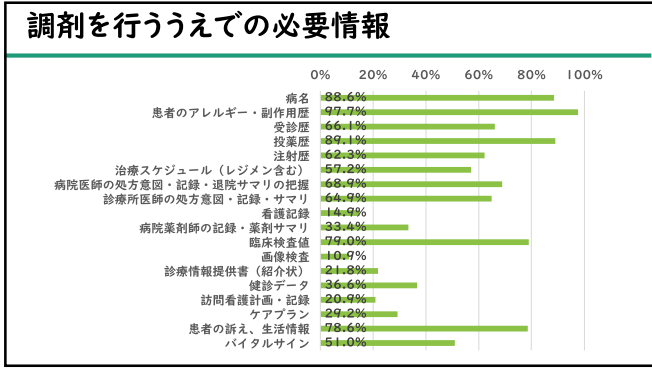
26



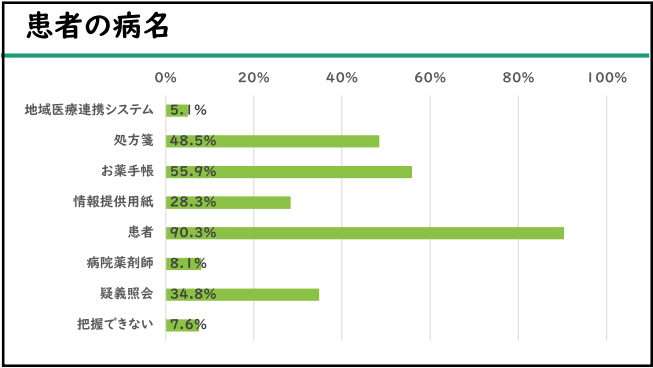
27



28



29



30